

令和8年7月3日

保護者の皆様へ

沖縄県立具志川商業高等学校長  
(公印省略)

## 令和8年度奨学のための給付金（返還不要）の支給に関する手続きについて

授業料以外の教育費負担の軽減を図ることを目的に支給対象世帯に奨学のための給付金が支給されることとなりました。

この制度は、返還不要の給付金です。

給付を受けるためには申請が必要ですので、別紙支給対象に該当する保護者等は、下記のとおり申請をお願いいたします。

なお、保護者等の申し出がある場合には、給付金を代理受領し、学校取扱金（校納金等）に充てることが可能です。詳細は下記担当へお問い合わせください。

### 記

#### 1. 給付対象者

①生活保護（生業扶助）受給世帯

②年収 490 万円未満程度（保護者等（親権者）全員の住民税所得割額（道府県民税及び市町村民税所得割額）の合算額が 182,500 円未満）の世帯

③離職等の家計急変により②と同程度の収入であると見込まれる世帯やむを得ない事情による離職が対象です。

自己都合退職や契約期間の終了による離職は該当しません。

#### 2. 提出書類：別添リーフレット参照

（申請書一式はピンク色の封筒に入れて生徒に持たせています。）

※申請漏れを防ぐ為、全校生徒に申請書を配布しています。

該当しないご家庭はお手数をおかけしますが破棄お願いいたします。

#### 3. 提出期限：令和8年7月23日（木）

#### 4. 提出先：具志川商業高校事務室

#### 5. 留意事項

(1) 提出期限までに申請しないときは、給付金を受けられなくなります。

(2) 生活保護の受給状況や扶養者の状況は7月1日現在を基準とします。

（家計急変世帯への支援については除く）

#### <沖縄県外に在住の方>

該当し、申請を希望する場合はお住まいの都道府県教育委員会にお問い合わせください。

今年度は昨年度より対象となる世帯の範囲が広がっています。年収はあくまで目安です。家族構成や住民税の金額によって対象となるかどうか決まります。「対象かもしれない」という場合は、ぜひ申請をご検討下さい。

# 奨学のための給付金に係る提出書類等確認票

※学校へ提出する前に提出書類の確認をお願いいたします。

## 【提出書類】

### □ 共通

- 高校生等奨学のための給付金受給申請書
- 債権・債務者登録申出書
- 振込先口座の通帳の写し  
(銀行名、支店名、フリガナ及び口座番号がわかるもの)
- 生徒の国籍を確認できる書類  
(日本国籍:戸籍抄本又は戸籍謄本、外国籍:在留カードの写し又は特別永住者証明書の写し)

### □ 所得割額182,500円未満世帯

- 親権者全員の令和8年度全項目所得課税証明書  
両親 → 2人分  
ひとり親 → 1人分  
(親権者以外が申請する場合は申請者の令和8年度全項目所得課税証明書)

注意！！

- 所得課税証明書
- ×→課税証明書
- ×→非課税証明書

### □ 生活保護受給世帯

- 生活保護法の規定による生業扶助(高等学校等就学費)受給証明書(様式2)  
(生活保護証明書で生徒本人が生業扶助を受けているか確認できる場合は、生活保護証明書でも可)  
※証明書の発行日が7月1日以降であり、受給開始日の記載があること

### □ 家計急変世帯

専用の申請様式があります。事務室に家計急変の詳細を伝えて専用の申請様式を取得してください

- 保護者等の家計急変の発生事由を証明する書類  
離職票、雇用保険受給資格者証等 破産宣告通知書・廃業等届出書のいずれか  
死別・離婚の場合は、戸籍謄本等の離婚等の事実が確認できる書類
- 家計急変前・家計急変後の収入を証明する書類  
(全項目が記載されている)所得課税証明書の写し(家計急変前)  
会社作成の給与明細書、直近の給与明細書(家計急変後)  
給与・所得見込証明書(家計急変後)  
税理士又は公認会計士等が作成した所得証明書類(家計急変後)
- 保護者等の扶養親族の人数・年齢を確認する書類  
扶養誓約書(様式3)、扶養親族分の資格確認書の写し又は扶養親族の記載が省略されていない所得課税証明書(全項目証明書)のいずれか

### \* 該当者のみ

- 校納金等が未納で給付金からの充当を希望する場合 → 委任状(様式6)
- 申請者以外の口座に振り込む場合 → 依頼書
- 申請者が親権者以外の場合 → 扶養誓約書(様式3)

様式1-1

年 月 日

沖縄県知事 殿

### 高校生等奨学のための給付金受給申請書 (返還不要)

**※必須項目**

下記の4点を確認の上、左の口にレ点を付けてください。

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- この申請書に虚偽の記載があった場合は、沖縄県の求めに従いその全額を即時返還します。
- 私は沖縄県以外の都道府県に高校生等奨学のための給付金の申請は行っておりません。
- この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

※該当する口にレ点を付けてください。

①	<input type="checkbox"/>	課税証明書・生活保護法の規定による生業扶助受給証明書を提出します。
---	--------------------------	-----------------------------------

高校生等奨学のための給付金の受給を申請します。

ふりがな		申請者住所 (電話番号)	—	—
申請者氏名				
高校生等との関係 ※該当する口にレ点を記入	<input type="checkbox"/> 親権者 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 未成年後見人である里親 <input type="checkbox"/> 主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 高校生等本人 <input type="checkbox"/> その他 (                      )			

**【対象となる高校生等について】**

ふりがな		生年月日	昭和	年	月	日		
生徒氏名			平成					
在学する学校	名称	沖縄県立 具志川商業高等学校 全日制 課程				学科		
	所在地	沖縄県うるま市みどり町6丁目10番1号						
	在学期間	年	月	日	～ 在学中	学年	年	在学中に給付金を受給した回数

**【過去の高等学校等における在学期間】**

学校名	立	高等学校	制課程	在学中に給付金を受給した回数				
在学期間	年	月	日	～	年	月	日	回
学校名	立	高等学校	制課程	在学中に給付金を受給した回数				
在学期間	年	月	日	～	年	月	日	回

**【記入が必要となる様式について】**

(次の口にレ点を付けて、申請に必要な様式に記入してください。)

①	<input type="checkbox"/>	⇒ 様式1-2、様式1-3 を記入してください。 【国籍・在留資格等が確認できる書類を添付】
---	--------------------------	---

【1】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等について

(次のいずれかの該当する口にレ点を付けてください。)

(1) 高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。

- ①  日本国
- ②  日本国以外

(上記(1)で②「日本国以外」を選択した場合は、次の③～⑨のいずれかの該当する口にレ点を付けてください。また、必要事項を記入してください。)

(2) 高校生等本人の国籍及び在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。

③	<input type="checkbox"/>	特別永住者						
④	<input type="checkbox"/>	永住者						
⑤	<input type="checkbox"/>	日本人の配偶者等	在留期間(満了日)	(西歴)	年	月 日		
⑥	<input type="checkbox"/>	永住者の配偶者等						
⑦	<input type="checkbox"/>	定住者	在留期間(満了日)	(西歴)	年	月 日		
			日本国に永住する意思の有無	<input type="checkbox"/>	はい(あり)	<input type="checkbox"/>	いいえ(なし)	
⑧	<input type="checkbox"/>	家族滞在	在留期間(満了日)	(西歴)	年	月 日		
				<input type="checkbox"/>	卒業した	<input type="checkbox"/>	卒業していない	
			日本国の小学校の卒業の有無等	小学校名				
				所在地	都・道・府・県			
			日本国の中学校の卒業の有無等	中学校名				
				所在地	都・道・府・県			
⑨	<input type="checkbox"/>	上記以外の在留資格(留学等)	在留期間(満了日)	(西歴)	年	月 日		
			日本国で就労する意思の有無	<input type="checkbox"/>	はい(あり)	<input type="checkbox"/>	いいえ(なし)	

【2】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等の確認書類について

(生徒の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次の①～④のいずれかの口にレ印をつけてください。)

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

- ①  「戸籍抄本(コピー可)」を添付します。  
※国籍・親権者が記載されたもの。  
※国籍が「日本国」以外の生徒：国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの。
- ②  「住民票の写し(市町村の発行したもの。原本。コピー不可。)」を添付します。
- ③  「特別永住者証明書の写し(コピー)」を添付します。
- ④  「在留カードの写し(コピー)」を添付します。
- ⑤  以下に該当するため、①～④のいずれの書類も添付しません。

以下のすべてに該当	かつ	以下のいずれかに該当
・令和8年3月31日以前から引き続き在学している者		・在留資格が「定住者」で、日本国に永住する意思がない場合
・国籍が「日本国以外」		・在留資格が「家族滞在」で、日本国で就労する意思がない場合
・「生活保護受給世帯」又は「令和8年度の住民税が非課税である世帯」		・在留資格が「家族滞在」で、日本国の小学校及び中学校を卒業していない場合 等

(在留資格が「家族滞在」であって、下記のすべてに該当する場合は、⑥⑦の口にレ印を付けてください。)

- ・ 1 (2) ③で「日本国の小学校及び中学校を卒業した」にレ印を付けた
- ・ 1 (2) ⑧で「日本国で就労する意思がある」にレ印を付けた
- ⑥  「日本国の小学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。
- ⑦  「日本国の中学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。

(1) 【保護者等の収入等の状況について】 (該当する□にレ点を付けてください。)  
生活保護法 (昭和25年法律第144号) 第36条の規定による生業扶助 (高等学校等就学費) について

①	<p>7月1日現在、生活保護を受給しています。</p> <p><input type="checkbox"/> 対象となる高校生等本人に係る生業扶助を受給しています。 →受給していることがわかる証明書を添付ください。(2)以下は記載の必要はありません。</p> <p><input type="checkbox"/> 生活保護を受給していますが、対象となる高校生等本人に係る生業扶助は受給していません。 →(2)以下を記載してください。</p>
②	<p><input type="checkbox"/> 7月1日現在、生活保護を受給していません。→(2)以下を記載してください。</p>

(2) 【保護者等の収入等の状況について】 次の者の課税証明書等を提出します。  
(該当する□にレ点を **1つだけ** 付けてください。)

①	<p>親権者 (両親) 2名分</p> <p><input type="checkbox"/> 高校生等が未成年 (18歳未満) であり、親権者 (両親) が2人存在する場合</p>
②	<p>親権者 1名分</p> <p><input type="checkbox"/> 親権者の1名が、日本国内に住所を有したことがない場合 ※親権者が課税期日に日本国内に住所を有していない場合、課税額の確認ができないため、給付対象外となります。</p> <p><input type="checkbox"/> 離婚、死別等により親権者が1名の場合 親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の2人の課税証明書等を提出できない場合</p>
③	<p>未成年後見人 ( ) 名分</p> <p><input type="checkbox"/> 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合 (未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。</p>
④	<p>高校生等の生計をその収入により維持している者 (主たる生計維持者) (両親等) 2名分</p> <p><input type="checkbox"/> 高校生等が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点で生計を維持する者に変更がない場合</p>
⑤	<p>高校生等の生計をその収入により維持している者 (主たる生計維持者) 1名分</p> <p>(※) に該当する場合は扶養誓約書を添付して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> 主たる生計維持者の1名が、日本国内に住所を有したことがない場合 ※主たる生計維持者の1人が課税期日に日本国内に住所を有していない場合、課税額の確認ができないため、給付対象外となります。</p> <p><input type="checkbox"/> 入学時点で高校生等が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合 (※) 高校生等が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合又は成人後に主たる生計維持者が1人になった場合 高校生等が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しない場合 (※) 等</p>
⑥	<p>高校生等本人</p> <p><input type="checkbox"/> 成人に達しており、自身が主たる生計維持者である場合</p> <p><input type="checkbox"/> 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等</p>

(3) 【保護者等について】  
課税証明書等を提出する保護者等の氏名及び対象生徒との続柄を記入してください。

ふりがな		高校生等との続柄
氏名		

ふりがな		高校生等との続柄
氏名		

## 記入上の注意

様式1-1【対象となる高校生等について】の欄は、次によって記入してください。

- イ 現在通っている学校の在学期間について、記入してください。また、過去に高等学校等に在学したことがある場合には、過去の高等学校等における学校の在学期間についても記入してください。
- ロ 「高等学校等」とは、国公立の高等学校(専攻科を含む)、中等教育学校の後期課程(専攻科を含む)、高等専門学校(第1学年から第3学年まで)、専修学校及び各種学校のうち高等学校の課程に類する課程を置くものとして文部科学省令で定めるものをいいます。

ハ 学校の「名称」の欄には、「①高等学校(全日制)」、「②高等学校(定時制)」、「③高等学校(通信制)」、「④高等学校(専攻科)」、「⑤中等教育学校(後期課程)」、「⑥中等教育学校(専攻科)」、「⑦高等専門学校(1～3学年)」、「⑧専修学校(高等課程)昼間学科」、「⑨専修学校(一般課程)昼間学科」、「⑩専修学校(高等課程)夜間等学科」、「⑪専修学校(一般課程)夜間等学科」、「⑫専修学校(高等課程)通信制学科」、「⑬専修学校(一般課程)通信制学科」、「⑭各種学校(外国人学校)」、「⑮各種学校(その他)」、「⑯特定教育施設」の別を記入してください。

様式1-2【1】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等について の欄は、次によって記入してください。

- イ 高校生等の在留資格が「家族滞在」である場合において、「小学校」は、「日本の小学校、義務教育学校の前期課程」をいい、「中学校」は「日本の中学校、義務教育学校の後期課程」をいいます。
- ロ 高校生等の在留資格が「家族滞在」である場合において、「日本国で就労する意思の有無」は、「高等学校の卒業又は修了後、就労して引き続き日本国に在留する意思」を問うものですが、高等学校等の卒業又は修了後、直ちに就労をするものに限りません。

様式1-3(1)【保護者等の収入等の状況について】の欄は、次によって記入してください。

- イ 保護者とは、親権を行う者(親権を行う者のないときは、未成年後見人)をいい、次の①～⑤は除きます。  
 ①児童福祉法第33条の2第1項、第33条の8第2項又は第47条第2項の規定により親権を行う児童相談所長  
 ②児童福祉法第47条第1項の規定により親権を行う児童福祉施設の長  
 ③法人である未成年後見人  
 ④民法第857条の2第2項に規定する財産に関する権限のみを行使すべきこととされた未成年後見人  
 ⑤その他高校生等の就学に要する経費の負担を求めることが困難と認められる保護者

ロ (1)①「対象となる高校生等本人に係る生業扶助を受給しています。」に該当する場合は、4月1日現在の生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出してください。

ハ (2)②に該当するときは、必ず「親権者」全員の状況を確認の上、記入してください。  
 (2)②の「家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合」とは、例えば、ドメスティックバイオレンス、養育放棄等の事情が存在する場合(注)が該当します。この「家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合」は、(2)⑤並びに⑥の「親権者が存在しない場合」に含まれます。

(注) 共同親権であるため親権者は2名だが、親権者の一方に就学に要する経費の負担を求めることが困難と思われる場合は、お住まいの都道府県へ相談してください。

ニ (2)①、③又は④に該当するときは、保護者全員の所得に関する書類(課税証明書・非課税証明書等)を添付してください。

ホ (2)⑤又は⑥に該当するときは、高校生等本人又は主として高校生等の生計をその収入により維持している者(医療保険各法(注)における扶養者等)の所得に関する書類を添付してください。また、主として高校生等の生計をその収入により維持している者がいるかどうかについて確認できる書類(扶養誓約書)を添付してください。

(注) 医療保険各法とは、健康保険法、船員保険法、国民健康保険法、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法又は私立学校教職員共済法をいう。

## 留意事項

イ 過去に国公立を問わず高等学校等(修業年限が3年未満のものを除く。)を卒業し又は修了したことがある場合には、奨学のための給付金の受給資格はありません。(専攻科に在学している者を除く。)

ロ 2校以上の学校に在学している場合は、いずれか1校を選んで申請をしてください。

ハ 国籍が「日本国以外」の生徒であって、申請時点で在留期間が経過していても、在留期間の延長申請を既に行っている場合(出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)第20条第6項の規定による「特例期間」に当たる場合)には、申請は可能ですが、在留期間の延長が認められたことを証明する書類の提出が必要です。  
 なお、特別永住者又は永住者は、提出書類に在留期間が記載されている必要はありません。

ニ 認定基準日現在、児童福祉法による児童入所施設措置費等国庫負担金について(令和5年5月10日こ支家第47号)による措置費等の支弁対象となる高校生等であって、見学旅行費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く)が措置されている場合は、補助対象外となります。

様式1-1

消せない筆跡で記入してください。

令和 8 年 7 月 日

沖縄県知事 殿

高校生等奨学のための給付金受給申請書  
(返還不要)

※受付日は7月1日以降となります

※必須項目

下記の4点を確認の上、左の口にレ点を付けてください。

- この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- この申請書に虚偽の記載があった場合は、沖縄県の求めに従いその全額を即時返還します。
- 私は沖縄県以外の都道府県に高校生等奨学のための給付金の申請は行っておりません。
- この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

※該当する口にレ点をつけてください。

①	<input checked="" type="checkbox"/> 課税証明書・生活保護法の規定による生業扶助受給証明書を提出します。
---	---

高校生等奨学のための給付金の受給を申請します。

ふりがな	りゅうきゅう まつ	申請者住所	沖縄県那覇市泉崎1-2-2
申請者氏名	琉球 マツ	(電話番号)	098 - 866 - 2711
高校生等との関係 ※該当する口にレ点を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 親権者 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 未成年後見人である里親 <input type="checkbox"/> 主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 高校生等本人 <input type="checkbox"/> その他 ( )		

【対象となる高校生等について】

ふりがな	おきなわ でいご	生年月日	昭和 22 年 4 月 20 日
生徒氏名	沖縄 梯梧		
在学する学校	名称	沖縄県立 教育支援高等 学校 全日制 課程 学科	
	所在地	沖縄県那覇市寄宮1-2-16	
	在学期間	令和 8 年 4 月 1 日 ~ 在学中	学年 1 年 在学中に給付金を受給した回数 0 回

【過去の高等学校等における在学期間】

学校名	立 高等学校	制課程	在学中に給付金を受給した回数
在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日		回
学校名	立 高等学校	制課程	在学中に給付金を受給した回数
在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日		回

【記入が必要となる様式について】

(次の口にレ点を付けて、申請に必要な様式に記入してください。)

①	<input checked="" type="checkbox"/> ⇒ 様式1-2、様式1-3 を記入してください。 【国籍・在留資格等が確認できる書類を添付】
---	---

【1】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等について

(次のいずれかの該当する口にレ点を付けてください。)

(1) 高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。	
① <input checked="" type="checkbox"/>	日本国
② <input type="checkbox"/>	日本国以外

(上記(1)で②「日本国以外」を選択した場合は、次の③～⑨のいずれかの該当する口にレ点を付けてください。また、必要事項を記入してください。)

(2) 高校生等本人の国籍及び在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。				
③ <input type="checkbox"/>	特別永住者			
④ <input type="checkbox"/>	永住者			
⑤ <input type="checkbox"/>	日本人の配偶者等	在留期間(満了日)	(西歴) 年 月 日	
⑥ <input type="checkbox"/>	永住者の配偶者等			
⑦ <input type="checkbox"/>	定住者	在留期間(満了日)	(西歴) 年 月 日	
		日本国に永住する意思の有無	<input type="checkbox"/> はい(あり) <input type="checkbox"/> いいえ(なし)	
⑧ <input type="checkbox"/>	家族滞在	在留期間(満了日)	(西歴) 年 月 日	
			<input type="checkbox"/> 卒業した <input type="checkbox"/> 卒業していない	
		日本国の小学校の卒業の有無等	小学校名	
			所在地	都・道・府・県
		日本国の中学校の卒業の有無等	中学校名	
			所在地	都・道・府・県
	日本国で就労する意思の有無	<input type="checkbox"/> はい(あり) <input type="checkbox"/> いいえ(なし)		
⑨ <input type="checkbox"/>	上記以外の在留資格(留学等)	在留期間(満了日)	(西歴) 年 月 日	

【2】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等の確認書類について

(生徒の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次の①～④のいずれかの口にレ印をつけてください。)

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

① <input checked="" type="checkbox"/>	「戸籍抄本(コピー可)」を添付します。 ※国籍・親権者が記載されたもの。 ※国籍が「日本国」以外の生徒: 国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの。
② <input type="checkbox"/>	「住民票の写し(市町村の発行したもの。原本。コピー可。)」を添付します。
③ <input type="checkbox"/>	「特別永住者証明書の写し(コピー)」を添付します。
④ <input type="checkbox"/>	「在留カードの写し(コピー)」を添付します。
⑤ <input type="checkbox"/>	以下に該当するため、①～④のいずれの書類も添付しません。

以下のすべてに該当	かつ	以下のいずれかに該当
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年3月31日以前から引き続き在学している者</li> <li>国籍が「日本国以外」</li> <li>「生活保護受給世帯」又は「令和8年度の住民税が非課税である世帯」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>在留資格が「定住者」で、日本国に永住する意思がない場合</li> <li>在留資格が「家族滞在」で、日本国で就労する意思がない場合</li> <li>在留資格が「家族滞在」で、日本国の小学校及び中学校を卒業していない場合 等</li> </ul>

(在留資格が「家族滞在」であって、下記のすべてに該当する場合は、⑥⑦の口にレ印を付けてください。)

<ul style="list-style-type: none"> <li>1 (2) ③で「日本国の小学校及び中学校を卒業した」にレ印を付けた</li> <li>1 (2) ③で「日本国で就労する意思がある」にレ印を付けた</li> </ul>	
⑥ <input type="checkbox"/>	「日本国の小学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。
⑦ <input type="checkbox"/>	「日本国の中学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。

(1) 【保護者等の収入の状況について】（該当する□にレ点を付けてください。）  
生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費）について

①	7月1日現在、生活保護を受給しています。 <input type="checkbox"/> 対象となる高校生等本人に係る生業扶助を受給しています。 →受給していることがわかる証明書を添付ください。(2)以下は記載の必要はありません。 <input type="checkbox"/> 生活保護を受給していますが、対象となる高校生等本人に係る生業扶助は受給していません。 →(2)以下を記載してください。
②	<input checked="" type="checkbox"/> 7月1日現在、生活保護を受給していません。→(2)以下を記載してください。

(2) 【保護者等の収入の状況について】次の者の課税証明書等を提出します。  
（該当する□にレ点を **1つだけ** 付けてください。）

①	親権者（両親）2名分 <input type="checkbox"/> 高校生等が未成年（18歳未満）であり、親権者（両親）が2人存在する場合
②	親権者1名分 <input type="checkbox"/> 親権者の1名が、日本国内に住所を有したことがない場合 ※親権者が課税期日に日本国内に住所を有していない場合、課税額の確認ができないため、給付対象外となります。 <input checked="" type="checkbox"/> 離婚、死別等により親権者が1名の場合 親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合
③	未成年後見人（ ）名分 <input type="checkbox"/> 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分） ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	高校生等の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）（両親等）2名分 <input type="checkbox"/> 高校生等が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点で生計を維持する者に変更がない場合
⑤	高校生等の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）1名分 (※)に該当する場合は扶養誓約書を添付して下さい。 <input type="checkbox"/> 主たる生計維持者の1名が、日本国内に住所を有したことがない場合 ※主たる生計維持者の1人が課税期日に日本国内に住所を有していない場合、課税額の確認ができないため、給付対象外となります。 <input type="checkbox"/> 高校生等が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合 (※) <input type="checkbox"/> 入学時点で高校生等が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合 (※) <input type="checkbox"/> 高校生等が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合又は成人後に主たる生計維持者が1人になった場合 <input type="checkbox"/> 高校生等が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しない場合 (※) 等
⑥	高校生等本人 <input type="checkbox"/> 成人に達しており、自身が主たる生計維持者である場合 <input type="checkbox"/> 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等

(4) 【保護者等について】  
課税証明書等を提出する保護者等の氏名及び対象生徒との続柄を記入してください。

ふりがな	りゅうきゅう まつ	高校生等との続柄
氏名	琉球 マツ	母

ふりがな		高校生等との続柄
氏名		

# 債権・債務者登録申出書(新規・変更・追加)

1枚目

- ・この申出書は、沖縄県から支払を受ける方又は沖縄県に納付をする方の情報を沖縄県財務会計システムに登録するために使用します。
- ・該当する項目に☑をお願いします。
- ・本件に関するお問い合わせは、提出の依頼元の部署へお願いします。
- ・口座情報を記入する場合は、通帳の写しも添付してください。(表紙及び中面のカナ書)

住所 電話番号	〒		電話番号	
法人名	フリガナ)	_____		
氏名	フリガナ)	_____		
		※個人の場合は空欄。個人事業主は屋号を記入する。		
		※法人の場合は代表者の役職名を、個人事業主の場合は氏名を記入する。		

い。 この枠内は、 口座振替払を受ける 場合にご記入ください	用途区分 (1つ選択)	<input type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> 工事前金払用 <input type="checkbox"/> 資金前渡用				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 追加	
	口座情報	金融機関 /支店			<input type="checkbox"/> 銀行 <input type="checkbox"/> 農協 <input type="checkbox"/> 労金		支店 出張所
		預金種別	<input type="checkbox"/> 普通預金 <input type="checkbox"/> 当座預金 <input type="checkbox"/> 別段預金				
		口座番号	_____ <small>※右詰とし、左の空白には0を記載してください。</small>				
		口座名義	<small>※通帳中面の記載(カタカナ又はアルファベット)のとおりに記入してください。濁音は一字とします。</small> _____ _____ _____				
		通帳写し	<input type="checkbox"/> 通帳の写し(表紙及び中面のカタカナ書)を添付した。				

**留意事項**

- ・最終使用年から5年度を経過したとき又は業務の性質等により、再度の提出をお願いする場合がございますのご了承ください。
- ・沖縄県財務会計システムから発行する納付書等は、お名前がカタカナで印字される場合がありますのでご了承ください。

上記のとおり申し出ます。

令和      年      月      日

沖縄県知事 殿

**申出者**

法人名	_____	※個人の場合は空欄。個人事業主は屋号を記入する。
氏名	_____	※法人の場合は代表者の職・氏名を記入すること。
法人の場合 担当者職・氏名	_____	担当者 連絡先 _____

<b>沖縄県使用欄</b>	本申請書の2枚目の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
受領所属	<input type="checkbox"/> 一般債権債務者 <input type="checkbox"/> 公共団体 <input type="checkbox"/> 特定債権債務者 <input type="checkbox"/> 職指定の資金前渡職員 <input type="checkbox"/> 一時債権者 <input type="checkbox"/> 非常勤(会計年度任用職員)
入力所属	



生業扶助（高等学校等就学費）受給証明書

年 月 日

福祉事務所長 印

下記の内容に相違ないことを証明します。  
 （該当する□にレ点をつけてください。）

- 1. 生業扶助（高等学校等就学費）あり （生業扶助開始日 年 月 日）
- 2. 生業扶助（高等学校等就学費）なし

世帯主氏名	住所		
世帯員氏名			
氏 名	続柄	生年月日	保護開始日
			年 月 日
			年 月 日
			年 月 日
			年 月 日
			年 月 日
			年 月 日
証明書の使用目的			
高校生等奨学給付金の受給手続のため			
備考			

沖縄県知事 殿

委任状

私が支給を受ける高校生等奨学給付金を下記の学校取扱金等に充てることについて、  
 学校長に委任することを了承します。

記

申請者住所	〒	ふりがな	
		申請者氏名	印
		学年・組・出席番号	年 組 番
		生徒氏名	
学校取扱金等	<input type="checkbox"/> 学校取扱金 (修学旅行費、教材費、学年費、実習費等) <input type="checkbox"/> 学校関係団体費 (PTA会費等の経費)		

※学校長は給付金を学校取扱金等に充てた後でなお、給付金に残余がある場合、その金額を申請者(保護者等)に支給する。

申請者以外の口座へ振り込む場合は、この依頼書を提出して下さい

令和 年 月 日

沖縄県知事 殿

依頼書

依頼人 \_\_\_\_\_ 印

私が受ける、令和8年度高等学校等奨学のための給付金については、下記への支払いをお願いします。

併せて、別添のとおり債権・債務者登録申出書を提出します。

1. 支払先

2. 生徒との関係

3. 支払口座等

別添債権・債務者登録申出書のとおり

令和 年 月 日

沖縄県知事 殿

依頼書

依頼人 琉球 マツ 印

私が受ける、令和8年度高等学校等奨学のための給付金については、下記への支払いをお願いします。

併せて、別添のとおり債権・債務者登録申出書を提出します。

1. 支払先

琉球 海人

2. 生徒との関係

義理の父

3. 支払口座等

別添債権・債務者登録申出書のとおり

様式 3

年 月 日

〒

扶養者住所

ふりがな

扶養者氏名

扶養誓約書

以下の事項を必ず確認の上、□にレ点及び必要事項を記入してください。

この誓約書の記載内容は、事実に相違ありません。

私と下記の者は、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。

記

ふりがな	
被扶養者氏名 (申請に係る生徒)	

ふりがな	
被扶養者氏名	
ふりがな	
被扶養者氏名	
ふりがな	
被扶養者氏名	
ふりがな	
被扶養者氏名	

備考

--